

令和6年5月24日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

う え き く ま も と き た
国道3号植木バイパス・熊本北バイパス
開通1年後の整備効果について

○国道3号植木バイパス及び熊本北バイパスは、熊本都市圏の環状道路網の一部となり、熊本市内の交通混雑の緩和及び交通安全性の向上等を目的とした道路であり、令和5年2月5日(日)に開通しました。

○この度、熊本西環状道路(下硯川IC)～須屋高架橋交差点間(延長2.7km)の開通1年後の整備効果についてお知らせします。

■交通量の変化

- ・新たに開通した植木バイパスは約8,800台/12hが利用。
- ・4車線化が完了した熊本北バイパスの交通量は約3,000台/12h増加。

[開通前:129百台/12h→開通1年後:159百台/12h]

■所要時間の短縮

- ・合志市須屋交差点から熊本市役所までの朝ピーク時間帯における所要時間が平均約13分短縮。

[実走調査結果 7:30～8:30 合志市須屋交差点発 R6.2.15(木)]

■物流や救急活動の支援

- ・新たなルートを活用することで輸送時間の定時性が向上。
- ・熊本の病院搬送において、搬送時間短縮により患者の負担軽減等、救急活動の支援につながりました。

問い合わせ先:

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所(TEL:096-382-1111(代表))

技術副所長 長野 秀隆 (内線205)

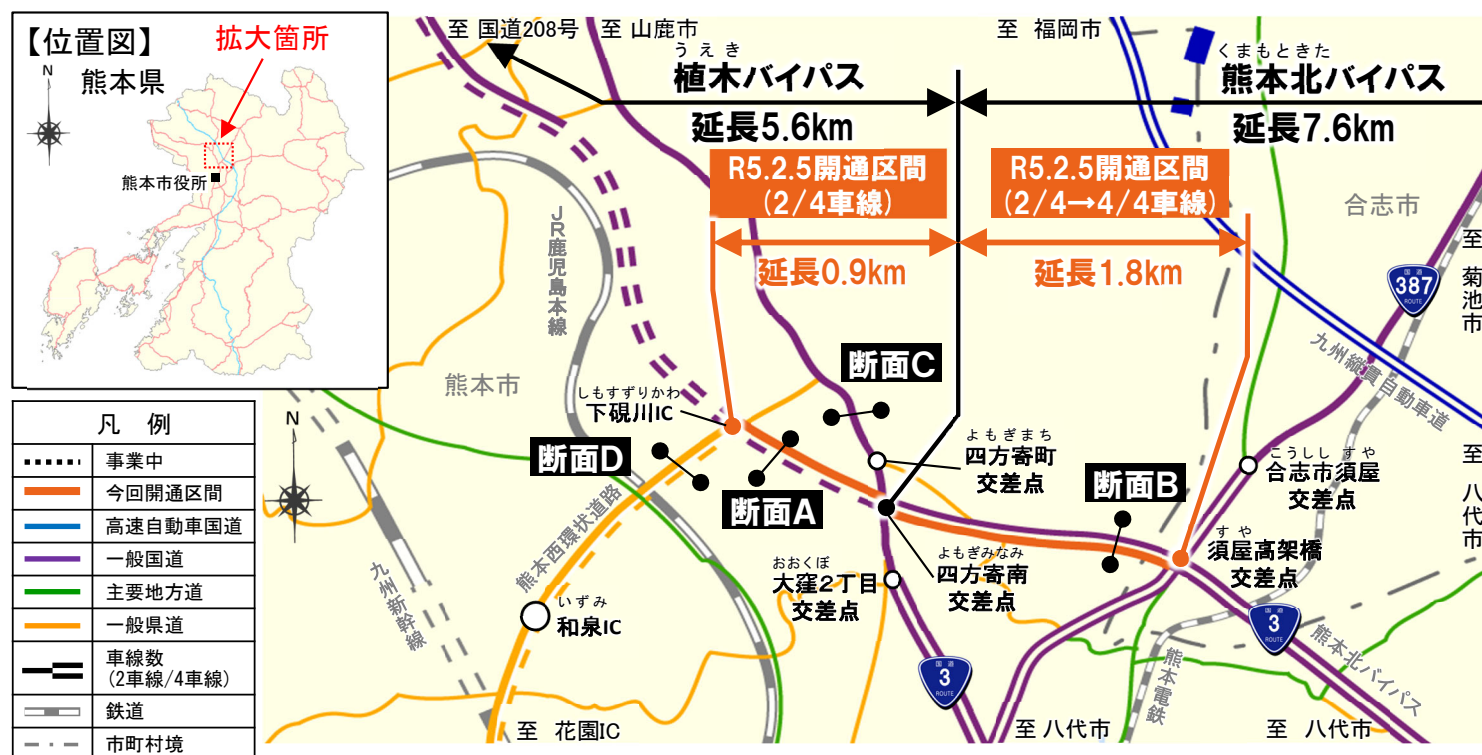
計画課長 横山 朋弘 (内線451)

E-mail: qsr-kumamoto-kouhou@mlit.go.jp URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

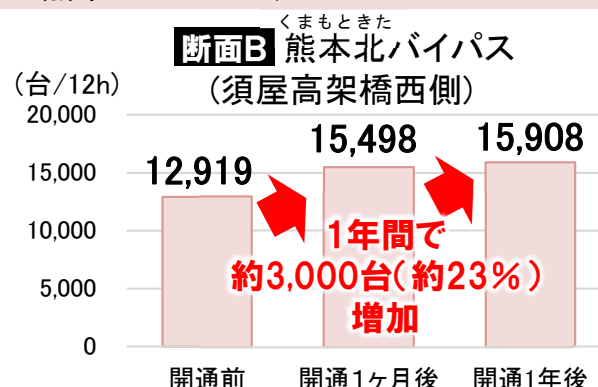
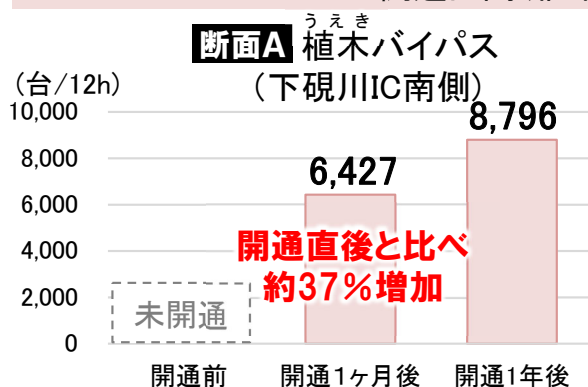
【開通後の交通量変化】

～熊本北バイパスなどの熊本環状道路の交通量へ転換～

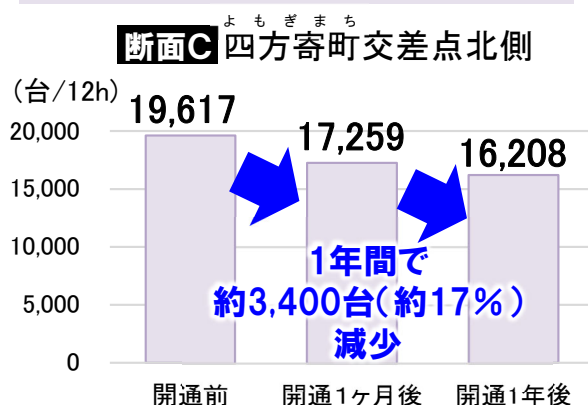
- 新たに開通した植木バイパスの開通1年後の交通量は約8,800台/12h。
- 4車線化が完了した熊本北バイパスは開通1年後に約3,000台/12h増加。
- 開通後、並行している国道3号の交通量は約17%減少しており、植木バイパス・熊本北バイパスに転換していると想定されます。



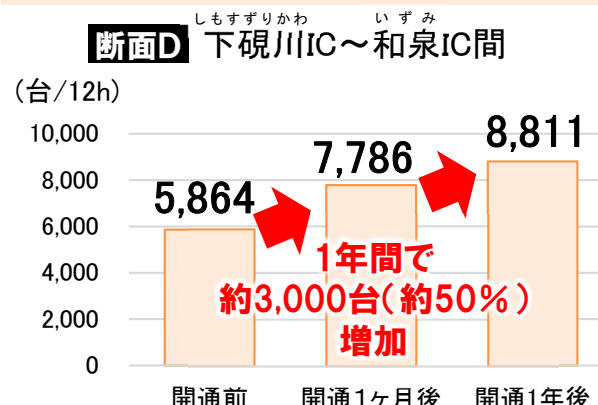
▼開通区間(植木バイパス・熊本北バイパス)



▼国道3号



▼熊本西環状道路



【出典】平日12時間(7～19時)交通量調査結果

調査日: 開通前R4.1.25(火) 開通1ヶ月後R5.3.7(火) 開通1年後R6.2.6(火)

【整備効果①：所要時間が短縮】

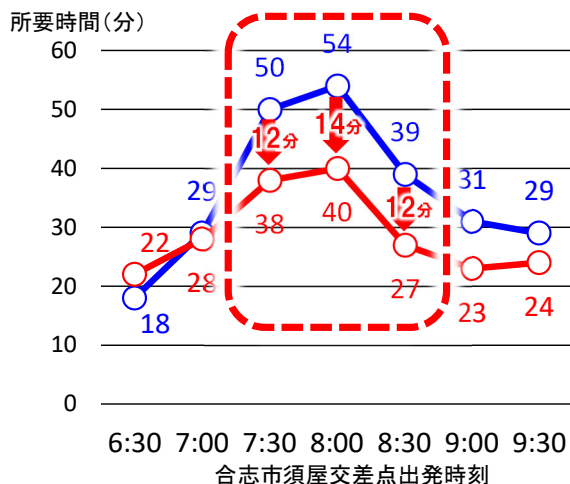
～合志市須屋交差点から熊本市役所まで平均約13分短縮～

○今回開通区間を利用することで、合志市須屋交差点から熊本市役所までの所要時間が短縮しており、朝ピーク時間帯で平均約13分短縮。

▼合志市須屋交差点から熊本市役所までの所要時間比較ルート



▼合志市須屋交差点から熊本市役所までの所要時間



7:30～8:30の

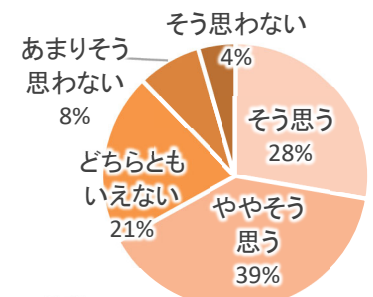
平均
48分

**短縮時間
平均13分**

7:30～8:30の

平均
35分

移動時間が短縮された実感



植木バイパスの開通により、植木周辺の通過時間が10分ほど短縮された。

n=400

【出典】実走調査 R6.2.15(木)

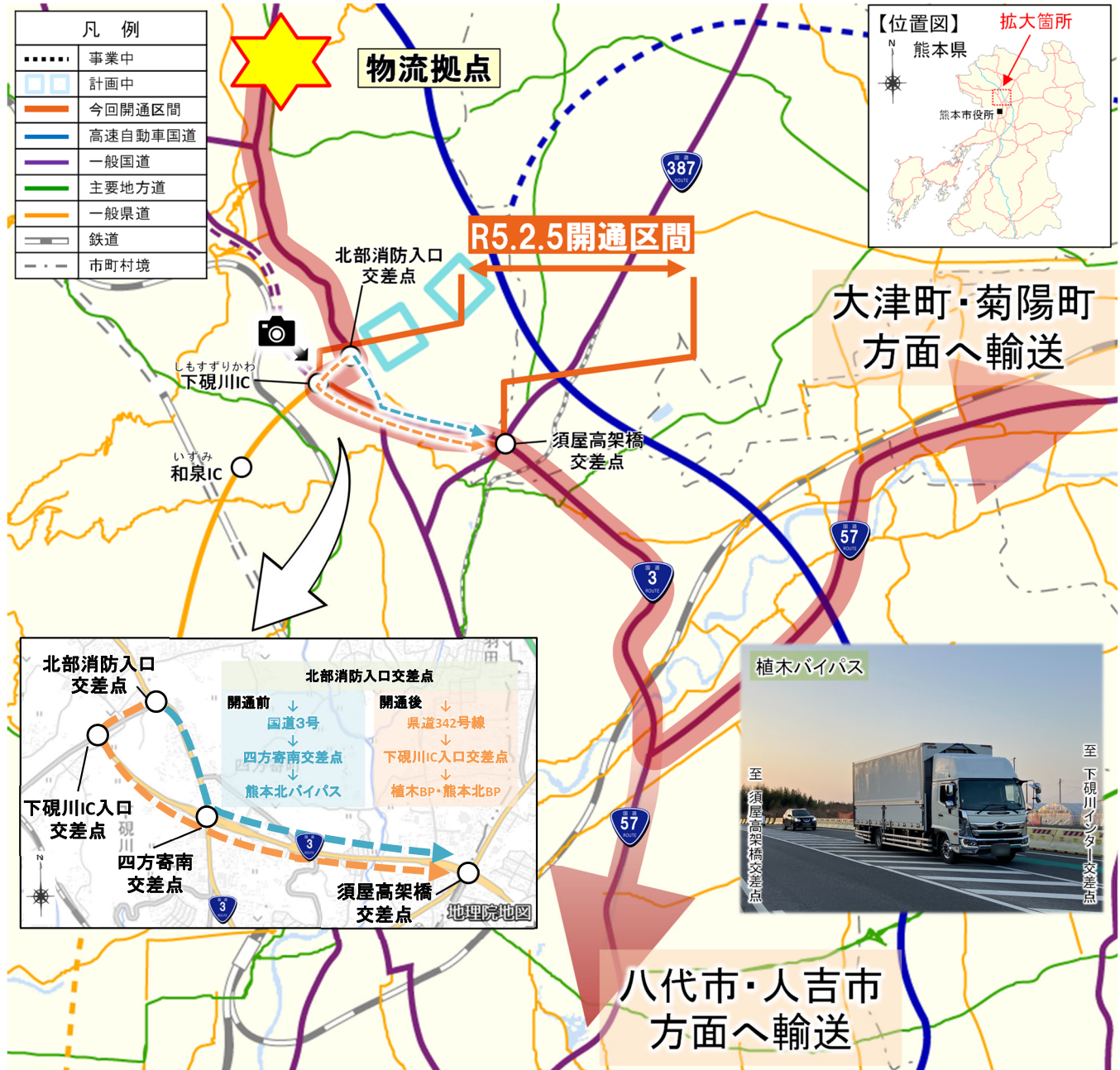
出典：住民Webアンケート(R6.2実施)

【整備効果②：物流活動の円滑化】

～物流の効率化への支援～

○搬送時間の定時性向上が確認され、物流活動への効率化に寄与しています。

▼開通区間を利用した輸送ルート

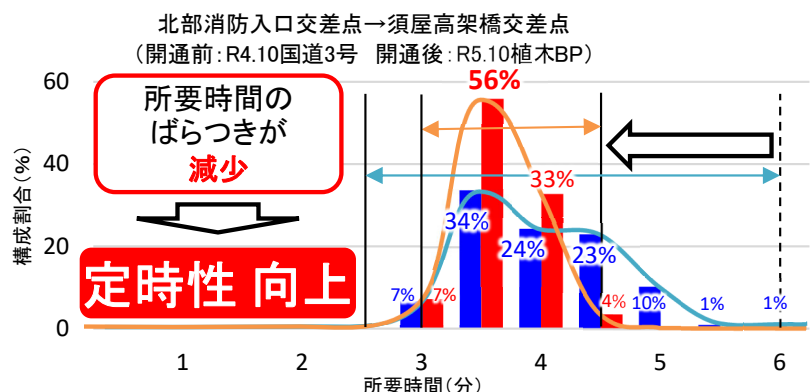


▼開通区間の交通特性

- 植木バイパスの開通及び、熊本北バイパスの4車線化により、物流ルートに選択肢が増え、物流の円滑化に貢献している。



地元運送会社
(ヒアリングR6.2月)



■ 国道3号(R4.10) ■ 植木BP(R5.10) 出典:ETC2.0プローブデータ R4.10 R5.10 6時～9時

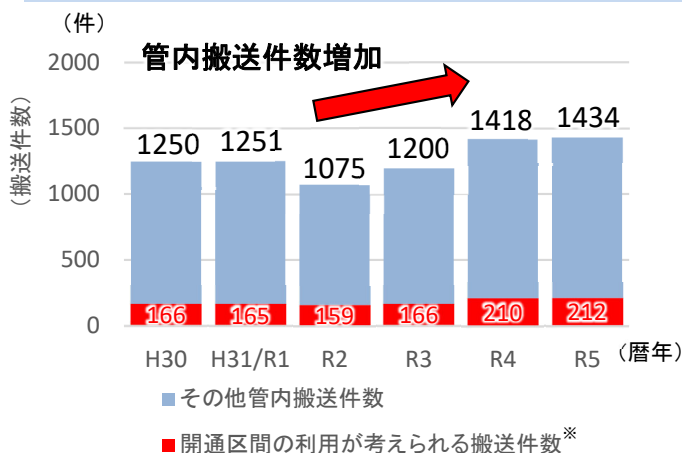
【整備効果③：救急搬送時間の短縮】

～救急活動・医療に貢献～

○植木バイパス・熊本北バイパスの開通により、主要渋滞箇所を避けて搬送先の病院へ移動することが可能となり、治療を受けるまでの時間短縮につながっています。



▼熊本市北消防署の搬送件数 推移



出典：熊本北消防署ヒアリング時聴取データ

植木バイパス・熊本北バイパスが開通したことにより、第三次救急医療施設である赤十字病院や、熊本市市民病院、西日本病院など、東区の病院への搬送時間の短縮になっている。



熊本市北消防署
(ヒアリングR6.2月)

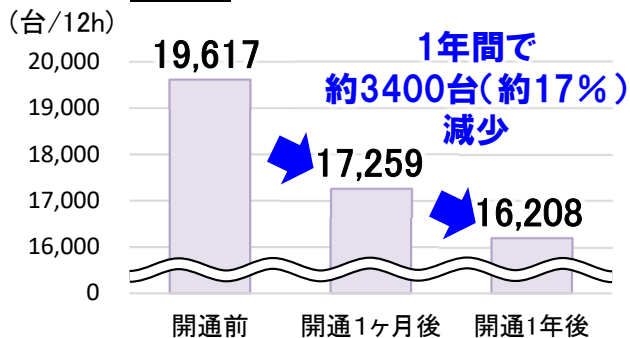
【参考】道路環境の改善

～安心して利用できる道路～

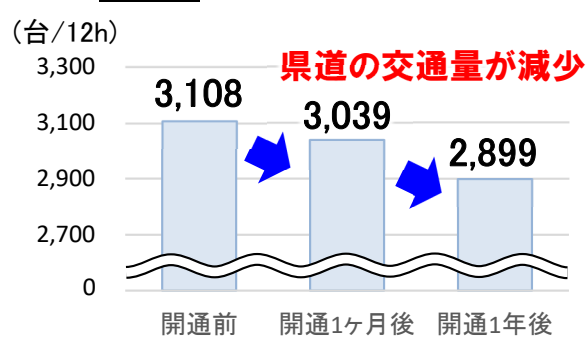
- 植木バイパス及び熊本北バイパスは信号交差点がなく、現道より広い歩道が整備され、安心・快適な道路環境になりました。
- 国道3号の交通量の減少により、県道への流入が減少し、周辺道路も安心して利用できるようになりました。



断面① 国道3号 交通量推移



断面② 県道231号託麻北部線 交通量推移



【出典】平日12時間(7～19時)交通量調査結果

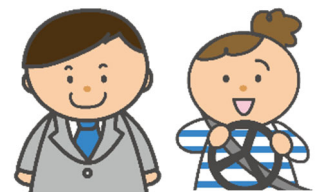
調査日: 開通前R4.1.25(火) 開通1ヶ月後R5.3.7(火) 開通1年後R6.2.6(火)

-開通区間の道路環境-

- ・道幅が広くなり、交差点数が減ったことで安全性が向上した。
- ・歩行者や自転車が少なく、安心して通行できる。

-周辺道路の道路環境-

- ・生活道路への進入が減ったように感じる。
- ・生活道路の安全性が確保された。



地域住民の意見
(WebアンケートR6.2月)